小　分量が多いとやる気が出ない児童への支援

児童・生徒の実態

一度にたくさんの量の課題を提示すると、やる気が出ず、なかなか取り組もうとしない。

・　ワークシートの工夫として、全てを写すのではなく、大切な部分を焦点化し、その部分を書くようにする。

きつねは、ひよこに、
それは□
そして、ひよこが
「□」
と言うと、ぼうっとなった。
ひよこは、□。

・　分量が多いと感じられるプリントはA、B、C、Dのように分割し、まずはAからやるように声を掛ける。できたら、B、C、Dに進む。

算数プリント

A
① 3 × 2 ＝
② 5 × 5 ＝
③ 6 × 1 ＝
④ 7 × 8 ＝
⑤ 9 × 3 ＝

B
⑥ 4 × 5 ＝
⑦ 8 × 3 ＝
⑧ 2 × 8 ＝
⑨ 1 × 7 ＝

C
⑪ 2 × 6 ＝
⑫ 3 × 9 ＝
⑬ 4 × 7 ＝
⑭ 1 × 8 ＝
⑮ 9 × 7 ＝

D
⑯ 8 × 6 ＝
⑰ 7 × 7 ＝
⑱ 5 × 8 ＝
⑲ 6 × 3 ＝

支援を受けてみて

・　国語のワークシートでは、書かなければいけない所が□になっていて、分かりやすかったです。書くところが少なくてよかったです。（本人）
・　算数プリントは、一度に全部させるより進みが速かったです。そして、自分からAが終わるとB、C、Dにも取り組んでいました。（保護者）